

2020年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号		学校名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評価者氏名	松本雅美
------	--	-----	-------------------	-------	------

- I 目指す学校像
1. 教育目標 (1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。
2. 目標具現化の柱 (1)母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。  
 (2)母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。  
 (3)日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。  
 (4)日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適応できる人材育成を目指す。  
 (5)進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。  
 (6)積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。  
 (7)教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。  
 (8)教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み  
 【評価基準 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった  
 D:ほとんど目標を達成することができなかった

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題	
			A	B	C	D	A	B	C	D		
1 「わかる・力のつ く」授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上 (2) 他の教員の授業参観年2回以上 (3) 勉強会の実施年6回以上 (4) 研修・講座への参加年1回以上	○									
2 校内規則及び社 会規範の順守 基本的生活習慣 の確立と心身の 健康管理	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 ・健康教育の充実	(1) 生活点検年6回以上実施 (2) 交通安全講座依頼 (3) 薬物乱用防止講座依頼 (4) 栄養講座依頼	○	○								性教育への移行
3 効果的な進路指 導・キャリア教育 指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力 養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施 (2) 高校3年生三者面談の実施 (3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施 (4) 英検・漢検受験奨励 (5) 日本での進学システムの説明 (6) オープンキャンパスへの参加 (7) 職業講座開催依頼 (8) 職場体験実施依頼 (9) 職場見学	○	○	○							

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題	
			A	B	C	D	A	B	C	D		
4 生徒個性の伸長と自主性・積極性の涵養	学校行事、生徒会活動におけるリーダー育成	(1) リーダー研修年2回実施		○								
5 日本語学習及び地域交流・教育機関連携の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育の充実</li> <li>日本語能力試験受験奨励</li> <li>日本社会に適応するための知識向上</li> <li>地域交流活動の積極的実施</li> <li>見学、研修の積極的受け入れ</li> </ul>	(1) 中学生以上日本語能力試験受験者80%以上 (2) 生徒のレベルに合わせたクラス編成 (3) 漢字昇級試験毎月実施 (4) 地域のイベントへの参加 (5) 見学・研修の受け入れ		○		○						フコナで実施出来る
6 安全・安心な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の清掃の徹底</li> <li>地震防災体制の確立</li> <li>送迎バス利用のためのルール確立</li> </ul>	(1) 整備委員会による点検の徹底 (2) 教室内安全チェック月1回以上 (3) 避難訓練実施月1回 (4) 消火・防災訓練依頼 (5) 送迎ルート安全確認年3回 (6) 安否確認方法整備 (7) クラス毎の連絡網確認年3回		○		○						
7 活力ある学校運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営、課題についての共通理解の徹底</li> <li>生徒募集のための活動の充実</li> </ul>	(1) 共通理解のための校内研修実施 (2) 教務内規改訂の検討 (3) 年度途中での課題確認による計画の修正 (4) 学校HP更新月1回 (5) オープンデー年1回以上		○		○						

2020年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号		学校名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評価者氏名	見野美香
------	--	-----	-------------------	-------	------

I 目指す学校像 1. 教育目標

(1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。

2. 目標具現化の柱

- (1)母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。
- (2)母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。
- (3)日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。
- (4)日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適応できる人材育成を目指す。
- (5)進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。
- (6)積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。
- (7)教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。
- (8)教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み

【評価基準 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった D:ほとんど目標を達成することができなかった

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題
			A	B	C	D	A	B	C	D	
1 「わかる・力のつ く」授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上 (2) 他の教員の授業参観年2回以上 (3) 勉強会の実施年6回以上 (4) 研修・講座への参加年1回以上					○				
2 校内規則及び社 会規範の順守	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 基本的な生活習慣 の確立と心身の 健康管理	(1) 生活点検年6回以上実施 (2) 交通安全講座依頼 (3) 薬物乱用防止講座依頼 (4) 栄養講座依頼					○				
3 効果的な進路指 導・キャリア教育 指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力 養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施 (2) 高校3年生三者面談の実施 (3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施 (4) 英検・漢検受験奨励 (5) 日本での進学システムの説明 (6) オープンキャンパスへの参加 (7) 職業講座開催依頼 (8) 職場体験実施依頼 (9) 職場見学					○	○			

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題
			A	B	C	D	A	B	C	D	
4 生徒個性の伸長と自主性・積極性の涵養	学校行事、生徒会活動におけるリーダー育成	(1) リーダー研修年2回実施							○		
5 日本語学習及び地域交流・教育機関連携の実施	・日本語教育の充実 ・日本語能力試験受験奨励 ・日本社会に適応するための知識向上 ・地域交流活動の積極的実施 ・見学、研修の積極的受け入れ	(1) 中学生以上日本語能力試験受験者80%以上 (2) 生徒のレベルに合わせたクラス編成 (3) 漢字昇級試験毎月実施 (4) 地域のイベントへの参加 (5) 見学・研修の受け入れ							○		
6 安全・安心な教育環境の整備	・校内外の清掃の徹底 ・地震防災体制の確立 ・送迎バス利用のためのルール確立	(1) 整備委員会による点検の徹底 (2) 教室内安全チェック月1回以上 (3) 避難訓練実施月1回 (4) 消火・防災訓練依頼 (5) 送迎ルート安全確認年3回 (6) 安否確認方法整備 (7) クラス毎の連絡網確認年3回							○		
7 活力ある学校運営体制の確立	・学校運営、課題についての共通理解の徹底 ・生徒募集のための活動の充実	(1) 共通理解のための校内研修実施 (2) 教務内規改訂の検討 (3) 年度途中での課題確認による計画の修正 (4) 学校HP更新月1回 (5) オープンデー年1回以上							○		

2020年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号	学校名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評価者氏名	鈴木三男
------	-----	-------------------	-------	------

- I 目指す学校像
1. 教育目標 (1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。
2. 目標具現化の柱 (1)母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。  
 (2)母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。  
 (3)日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。  
 (4)日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適應できる人材育成を目指す。  
 (5)進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。  
 (6)積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。  
 (7)教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。  
 (8)教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み

【評価基準】 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった  
 D:ほとんど目標を達成することができなかった

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題	
			A	B	C	D	A	B	C	D		
1 分かる・力のつ く、授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上 (2) 他の教員の授業参観年2回以上 (3) 勉強会の実施年6回以上 (4) 研修・講座への参加年1回以上					✓				大学等の関係機関とも連携し効果的な授業・指導方法を常に工夫しており高く評価できる。	
2 校内規則及び社 会規範の順守	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 基本的な生活習慣 の確立と心身の 健康管理	(1) 生活点検年6回以上実施 (2) 交通安全講座依頼 (3) 薬物乱用防止講座依頼 (4) 栄養講座依頼					✓	✓	✓	✓		
3 効果的な進路指 導・キャリア教育 指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力 養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施 (2) 高校3年生三者面談の実施 (3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施 (4) 英検・漢検受験奨励 (5) 日本での進学システムの説明 (6) オープンキャンパスへの参加 (7) 職業講座開催依頼 (8) 職場体験実施依頼 (9) 職場見学					✓	✓	✓	✓	✓	キャリア教育についても面接や職場体験に向けた準備をしっかり行い望んでいる。就労することを実感レベルで感じられる工夫をしながら生徒たちの興味や意欲を引きでている点は素晴らしい取り組みである。

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題	
			A	B	C	D	A	B	C	D		
4 生徒個性の伸長 と自主性・積極 性の涵養	学校行事、生徒会活動における リーダー育成	(1) リーダー研修年2回実施					✓					
5 日本語学習及び 地域交流・教育 機関連携の実施	・日本語教育の充実 ・日本語能力試験受験奨励 ・日本社会に適應するための 知識向上 ・地域交流活動の積極的実施 ・見学、研修の積極的受け入れ	(1) 中学生以上日本語能力試験受験者80% 以上 (2) 生徒のレベルに合わせたクラス編成 (3) 漢字昇級試験毎月実施 (4) 地域のイベントへの参加 (5) 見学・研修の受け入れ					✓	✓	✓	✓	コロナ禍でもオンライン授業の導入、 手洗いやうがいの指導、マスク着用 の徹底を図り日本語クラスを実施 した。子供たちが夢を叶えキャリアを 築いていけるようベストを尽くしてお り高く評価できる。	
6 安全・安心な教 育環境の整備	・校内外の清掃の徹底 ・地震防災体制の確立 ・送迎バス利用のためのルール 確立	(1) 整備委員会による点検の徹底 (2) 教室内安全チェック月1回以上 (3) 避難訓練実施月1回 (4) 消火・防災訓練依頼 (5) 送迎ルート安全確認年3回 (6) 安否確認方法整備 (7) クラス毎の連絡網確認年3回					✓	✓	✓	✓	✓	コロナ感染症の拡大期には、一部 の子供たちを学校で預かり健康被 害を防ぐなど柔軟に対応し、安心 で安全な環境確保に努めた。
7 活力ある学校運 営体制の確立	・学校運営、課題についての 共通理解の徹底 ・生徒募集のための活動の 充実	(1) 共通理解のための校内研修実施 (2) 教務内規改訂の検討 (3) 年度途中での課題確認による計画の修正 (4) 学校HP更新月1回 (5) オープンデー年1回以上					✓	✓	✓	✓		